瀬田事業所(環境・記録) SG50 2032

(株)島津製作所 瀬田事業所

2001 年度 環 境 報 告 書

2002 年 5 月 31 日

<事業所概要>

所在地 大津市月輪1丁目8-1

事 業 所 名 株式会社 島津製作所瀬田事業所

代表者 取締役所長 加藤孝幸

<主な事業所内企業>

企業名 島津メクテム 株式会社

代表者名 取締役社長 佐藤修一

資本金100百万円従業員数120名

営業品目 真空熱処理炉・歯車ポンプ

ガラスワインダー他

企業名 島津ハイドロリクス 株式会社

代表者名 取締役社長 加藤孝幸

資本金 30百万円

従業員数 140名

営業品目 油圧ポンプ・油圧モーター

油圧バルブ他

企業名 島津ロジスティクス(株)

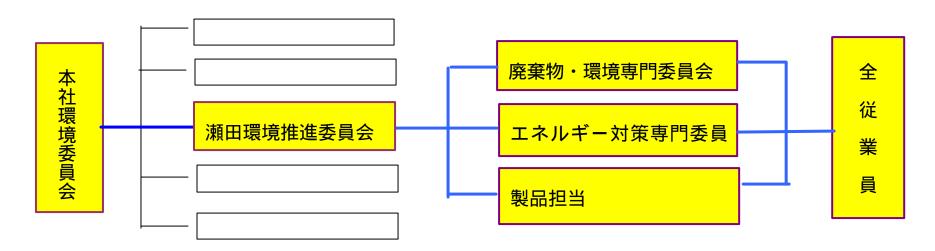
従業員数10名主な業務製品出荷

協力企業 8社

協力企業8 社従業員数3 5 名

主な業務 運搬・警備・清掃他

<環境改善運動組織>



<環境方針 要約>

1.基本理念

人類の健康と地球規模の環境保全は全世界共通の願いであり、社会の一員として地球環境問題を当社の最重要課題の一つとして位置づけ、当社経営理念「"人と地球の健康"への願いを実現する」べく企業活動を行い、地球を守り豊かな社会の実現に資する。

2.基本方針

瀬田事業所製品ならびにその製造過程及び関連サービスが環境に与える影響を的確に捉え、持続的な環境負荷の低減と社会の環境改善への積極的貢献を目指して、次の基本方針に基づき活動する。

- (1) 地球環境の保全と事業活動との調和を、瀬田事業所をあげて取り組む。
- (2) 地球環境の保全活動を推進させるため、瀬田事業所全員が活動できる組織を構築する。
- (3) 活動によって生じる環境への影響を的確に把握し、技術的、経済的に可能な範囲で、環境保全活動の継続的な向上をはかる。
- (4) 国際的環境規制及び国、地方自治体などの環境規制を遵守し、必要に応じて自主基準を策定して環境保全に努める。 (以下 略)

瀬田事業所(環境·記録) SG50 2032

<主な環境改善活動>

・2000年12月 環境改善運動キックオフ大会を開催

・2001年1月~3月環境改善組織の構築と環境影響評価

・ 2001 年 4 月 ~ 5 月 環境マネジメンントマニュアル作成と教育訓練

・2001年5月~ 全従業員による改善運動の実施

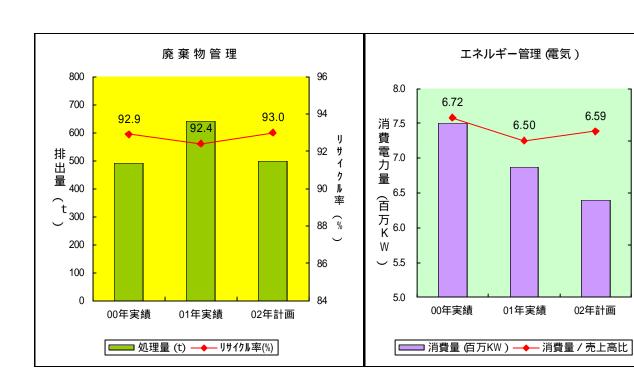
・2001 年 7 月 琵琶湖を美しくする運動参加 (島津メクテムは、36 年間連続参加)

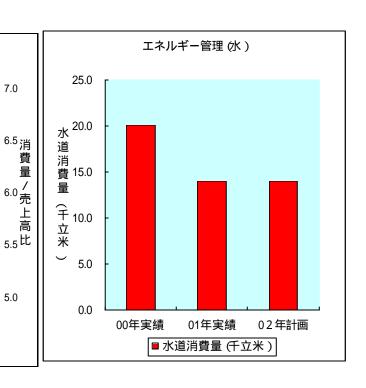
・ 2001 年 7 月 IS014001 認証取得

・ 2001 年 12 月 生活排水の下水道化拡張工事の完成

・ 2002 年 1 月 厨房廃水と一部工程廃水用の浄水化装置を導入

《 2001 年度環境改善活動実績の一部 》





以上